

## ■ 編 集 委 員

齋藤 一之 (委員長)

赤塚 俊隆 糸山 進次

片山 茂裕

菰田 二一

竹内 勤

出口 修宏

中塚 貴志 禾 秦壽

廣瀬 隆則

別所 正美

間嶋 満

松谷 雅生

和田 攻 (五十音順)

## ■ 編 集 後 記

本年から本誌の発行はいよいよインターネット上のホームページ (<http://www.saitama-med.ac.jp/uinfo/jsms/>) への掲載により行われることになり、それに伴い会員個人への直接の頒布は停止されました。今までは送られてきた雑誌をばらばらとめくことで本学の先生方の研究の一端をかいま見ることができましたが、これからは能動的な情報収集の態度が求められています。いつも学生に「能動的な学習を！」と言っている手前、時々本誌のホームページを開かなくてはと自省しております。

我国の大学医学部あるいは医科大学はほぼ例外なく機関誌を発刊していると聞きますが、おそらくその多くが活動性の低下に頭を悩ましているのではないのでしょうか。Impact factor 全盛の今日、少しでも点数の高い一流誌とりわけ米国の雑誌に自分の論文を掲載したいと願うのは研究者として当然のことと思われます。ただ我が身を振り返って言えば、今日にいたるまで継続している研究テーマの一つを決定づけたのは、二十数年前に或る地方国立大学医学部の機関誌に掲載された一編の症例報告でありました。いまだに関連する研究発表においてはその論文を引用しています。また遠い留学先の巨大な図書館においてあまたの一流雑誌に混じってひっそりとたたずむ母校の機関誌を見いだしたときには、思わず口元がほころびました。研究に貴賤がないように、また医学雑誌にも貴賤はないでしょう。ただ掲載された論文の価値だけが問われるのでしょうか。

新世紀を迎え、その体裁を大きく変えた我が埼玉医科大学雑誌がさらなる発展をとげるのを心より願っています。それを可能ならしめるのは、ひとえに会員の皆さまのすぐれた研究を本誌に投稿していただくことであろうと思います。

(廣瀬隆則)

## 埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/uinfo/jsms/>

第 28 巻 第 3 号 通巻 102 号 (季刊)

編集責任者

齋藤 一之

平成 13 年 7 月 20 日 印刷

平成 13 年 7 月 25 日 発行

発行所

埼玉医科大学医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049 (276) 1596 (直通) FAX 049 (294) 5659 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制 作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田 1-11-19 小宮ビル 2 階 電話 03 (3456) 5741 (代) <http://www.atene.co.jp>

印 刷

ヨーコー印刷株式会社

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 52-1 電話 049 (294) 3872 (代)